

千眼寺結婚式

神田秀孝・安澤実里



平成二十八年十月十五日正午、千眼寺本堂に於いて仏前結婚式を挙げました。

\*式師

東龍寺住職渡邊宣昭老師

\*式次第

- 一、新郎新婦入堂
- 一、式師入堂
- 一、開式の辞
- 一、献香三拝
- 一、啓白文奉読
- 一、洒水灌頂
- 一、寿珠授与
- 一、三帰礼文唱和
- 一、盃事
- 一、新郎新婦誓約
- 一、式師示訓
- 一、先祖報告
- 一、祝寿端座
- 一、普回向

- 一、普同三拝
- 一、閉式の辞
- 一、式師退堂
- 一、新郎新婦退堂



\*仏前結婚式とは、御仏の御前に於いて、新郎、新婦が将来の固い契りを誓い合い、更には、ご先祖様に感謝し報告する式です。結婚を「人生の一大事」とし、御仏の慈光に照らされ、その光を夫婦の絆として、良き伴侶と共に理想の行程に向かう第一歩を歩み出して欲しいと願っています。

□梅花だより

▼梅花流創立六十五周年

記念奉詠大会

日時 五月二十三日～二十五日  
会場 大本山永平寺

第四宗務所は二十三日奉詠。

奉詠曲は、「大本山永平寺第一番御詠歌（溪声）」、翌日、福井サンドームにて開会式及びアトラクション（南こうせつ氏による新曲発表）。

▼千眼寺結婚式で奉詠

須戸秀圓先生と小池泰元先生による、「結婚賛歌」「まごころにいきる」の独詠が式を華やかに飾りました。

\*梅花流詠讃歌 御詠歌を始めませんか。お釈迦さま、道元さま、瑩山さま、諸仏 諸菩薩さまを讃え、ご先祖さまを敬うところを学ぶことができます。

こども禅の集い

期日 7月27日～28日  
会場 羽黒 徳岩寺  
対象 小学生50名  
\*第17教区曹洞宗寺院主催にて毎年開催しています。坐禅、写経、読経、食事作法、レクリエーション他

仏事の知識

色は匂へど散りぬるを 我が世誰ぞ常ならむ 有為の奥山今日越えて 浅き夢見じ酔ひもせず

この歌

「いろは歌」は弘法大師作と言われ、七五調の四句からなり仮名四十七文字がすべて使われている。諸行無常（色は匂へど散りぬるを）、是生滅法（我が世たれぞ常ならむ）、生滅滅已（有為の奥山今日越えて）、寂滅為楽（浅き夢見じ酔ひもせず）を説き、出典は大般涅槃經の「雪山偈」とされる。「楽しきこともすぐ消えてなくなるし、世のうつろいは誰にも止められない、迷いの山を今日越えれば、もう浅はかな夢を見たり、夢に酔いしれることもない」たった一つしかない自分の人生、尊く生きよと「いろは歌」は教えてくれている。

\*寺報「乗雲」掲載の今までの仏事の知識は広蔵寺ホームページで公開しています。